

施策名	(仮称)浦和西部地域体育館建設事業
施策の概要	多様化・高度化が進み、かつ増加しつづける市民スポーツ愛好者のスポーツ活動需要に応えるため体育館の建設を平成12年度から平成14年度末完成予定で進めています。エネルギーの有効利用対策として、自然換気や外気冷房といった自然エネルギーを積極的に活用し、又、水の有効利用の推進として雨水やプールの排水を処理し、雑用水として再利用するとともに、節水機器や節水器具を使い、水資源の節約を図り環境への影響に配慮した省エネルギー性の高い体育館建設整備を進めています。
予算措置	平成12年度～平成14年度(3ヵ年継続費設定) 建設費 8,400,000千円
施策の実績及び今後の方針等	平成12年度着手 平成14年度末完成予定 平成15年4月供用開始予定
担当部課	担当部課名 市民文化部 浦和西部地域複合施設建設準備室 電話 048-829-1895 ファックス 048-829-1969
その他	

施策名	(仮称)プラザウエスト建設事業
施策の概要	<p>多様化・高度化する地域住民の施設ニーズにこたえ、地域を主体とした文化活動や生涯学習活動などに幅広く対応するための複合文化施設を平成15年度から平成16年度にかけて建設する予定です。エネルギーの有効利用対策として、コージェネレーションシステムの導入、又、水の有効利用の推進として雨水の再利用、工業用水(県企業局)の導入を図り環境への負荷に配慮した省エネルギー性の高い複合文化施設を建設する予定です。</p>
予算措置	<p>建設費(予定) 9,200,000千円(債務負担行為額)</p>
施策の実績及び今後の方針等	<p>環境にやさしい施設整備を目指し、地球環境の影響にも配慮した施設をつくります。リサイクル素材を取り入れた仕様も検討中です。</p> <p>平成14年度実施設計  平成15年度着手  平成16年度未完成予定  平成17年4月供用開始予定</p>
担当部課	<p>担当部課名 市民文化部 浦和西部地域複合施設建設準備室</p> <p>電話 048-829-1895</p> <p>ファックス 048-829-1969</p>
その他	

施策名	本庁舎の省エネルギー対策
施策の概要	冷暖房温度の適正化、不用照明の削減及び昼休み時間の執務室（窓口を除く）の消灯を図り省エネルギーに努め、ヒートアイランド現象の解消及び二酸化炭素の排出量削減に寄与する。
予算措置	
施策の実績及び今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 庁舎管理上、職員及び来庁者への理解を深めるため「省エネルギー」に関する啓蒙活動。</li><li>・ 冷房設定温度を上げるため、夏季におけるノーネクタイ運動の提案。</li></ul>
担当部課	担当部課名 財政部管財課 電 話 048 - 829 - 1173 内線 2466 ファックス 048 - 829 - 1990
その他	

施策名	雨水の地下浸透の促進
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・透水性舗装の施工により、雨水を地下へ浸透させる。</li><li>・雨水集水柵の底を浸透式にして施工する。</li></ul>
予算措置	<ul style="list-style-type: none"><li>・通常の街路工事内で施工するため、特別な予算計上は行わない。</li></ul>
施策の実績及び今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>・実績 都市計画道路の歩道を透水性舗装で施工。(自動車出入口部を除く) 低地部を除く、都市計画道路の集水柵底部を浸透式にて施工。</li><li>・今後の方針 今後もこれまでと同様な方針で整備を進める。</li></ul>
担当部課	担当部局： さいたま市 建設部 街路課 街路事業第1係 TEL： 048 - 829 - 1497 (内 3353) FAX： 048 - 829-1988
その他	

施策名	東浦和第二土地区画整理事業
施策の概要	都市計画道路の歩道部分を透水性舗装により施工する。 民有地の雨水処理は、浸透処理を指導する。 現況の雑木林を活かした近隣公園等の公園整備を行う予定です。
予算措置	(平成 12 年度) 263,113 千円 (平成 13 年度) 132,248 (平成 14 年度) 190,000  表示予算額は、上記施策のための予算ではなく、区画整理事業費を示す。
施策の実績及び今後の方針等	
担当部課	担当部課名 浦和東部区画整理事務所 電話 048-873-0053 ファックス 048-873-3193
その他	特になし

施策名	オープン型民間緑地保全事業
施策の概要	さいたま市みどりの条例に基づき、市内に残る貴重な緑地や良好な自然環境と認められる緑地のうち、市と所有者の理解が得られた緑地をオープン型民間緑地（自然緑地）に指定し、整備して市民に開放している。緑地所有者とは5年間の契約を結び、5年ごとに更新する。固定資産税及び都市計画税は免除、維持管理は業務委託（市の予算）により行われている。
予算措置	13年度 49,279千円 14年度 28,500千円
施策の実績及び今後の方針等	市内に26ヶ所 面積 約9.0 ha オープン型民間緑地のうち継続が不可欠な緑地については公有地化を検討し、保全に務めたい。
担当部課	担当部課名 都市計画部 公園みどり課 電話 048-829-1423 ファックス 048-829-1979
その他	

施策名	クローズ型民間緑地保全事業
施策の概要	さいたま市みどりの条例に基づき、市内に残る貴重な緑地を、クローズ型民間緑地（保存緑地）に指定し、良好な自然環境を確保している。緑地所有者とは5年間の契約を結び、5年ごとに更新している。固定資産税及び都市計画税相当額を補助金として交付し、所有者により維持管理が行われている。
予算措置	13年度 129,010千円 14年度 130,161千円
施策の実績及び今後の方針等	市内に390地区 面積 約63.4 ha
担当部課	担当部課名 都市計画部 公園みどり課 電話 048-829-1423 ファックス 048-829-1979
その他	

施策名	都市公園等整備事業
施策の概要	余暇時間の増大や小中学校の週休 2 日制の導入などにより、より身近にふれあえる憩いの場所やスポーツを楽しむ場所が求められているとともに、災害時の避難場所としての活用を考慮した街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、都市緑道等の都市公園の整備を行う。
予算措置	平成 13 年度 64,135,000 円 平成 14 年度 339,612,000 円
施策の実績及び今後の方針等	街区公園年間 9 箇所、近隣公園 3 箇所、総合公園 5 箇所、緑道 2 箇所の用地取得及び整備工事等。
担当部課	担当部課名 公園みどり課 電話 048-829-1423 ファックス 048-829-1979
その他	

施策名	保存樹木の奨励
施策の概要	次のいずれかに該当し、美観上特に優れた樹木 1 地上面から 1.5 m の高さで幹周り 1.5 m 以上の樹木 2 樹高 10 m 以上の樹木 3 希少価値があり、かつ珍重性に富むと認められた樹木 4 その他理事長が、保存の必要性があると認めた樹木 助成額 幹周り 3 m 未満 5 千円、3 m 以上 1 万円
予算措置	平成 13 年度 468 万円                      平成 14 年度 468 万円
施策の実績及び今後の方針等	3 市合併以前から続いており、今後も実施していきたい
担当部課	担当部課名 都市計画部公園管理事務所（さいたま市公園緑地協会） 電話 048 - 887 - 5990 ファックス 048 - 887 - 5982
その他	

施策名	次世代都市システム
施策の概要	<p>北部拠点宮原地区の道路や公園といった都市の基盤整備に複数の次世代都市システムを導入し、その複合化・統合化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然エネルギー活用システム（太陽光発電システム）</li> <li>・ 広域水利用システム（雨水利用システム）</li> </ul> <p>本システムのヒートアイランド対策としては、隣接街区からの雨水を公園地下に貯水し、公園トイレの洗浄水へ利用する。また併せて給水用ポンプの電源に太陽電池を活用する。さらに公園地下に貯水した雨水を利用して公園内へ散水し、蒸発散を促すことによってヒートアイランド現象の緩和に寄与する。</p>
予算措置	<p>平成14年度一般会計配当予算額 委託料・・・10,000(千円)</p> <p>次世代都市システム設計業務委託に要する経費であり、ヒートアイランド現象の緩和を目的とした予算措置ではありません。</p>
施策の実績及び今後の方針等	<p>平成10年度からシステムの概略設計、基本設計を実施し、平成14年度については、実施設計を予定している。</p> <p>平成15年度から北部拠点宮原地区内の公園において、次世代都市システムの構築に入る予定である。</p>
担当部課	<p>担当部課名 都市開発部 大宮北部まちづくり事務所</p> <p>電話 048 - 647 - 8154</p> <p>ファックス 048 - 647 - 8742</p>
その他	

施策名	新幹線沿線環境空間等整備事業の推進
施策の概要	新幹線及び埼京線の沿線において、騒音・日照等の対策として設けられている環境空間に対し、快適な生活環境を創造するため、地域住民等が利用できる緑地空間を形成する緑地・緑道の整備等を実施する。
予算措置	<p>H13年度 696,824千円 詳細は別紙のとおり</p> <p>H14年度 432,000千円 400,000千円(公園みどり課/下落合地区) 32,000千円(道路建設課/中浦和駅東口地区)</p>
施策の実績及び今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>下落合地区緑道整備事業・・・環境空間緑道整備事業の一環として、平成11年度より概ね5年を目処に、緑道整備工事、用地取得及び設計を行っている。 H11～H13 用地取得面積 7,869 m<sup>2</sup> 整備面積 4,614 m<sup>2</sup> H14(予定) 用地取得面積 1,914 m<sup>2</sup> 整備面積 2,372 m<sup>2</sup></li> <li>中浦和駅東口環境空間整備事業・・・中浦和駅東口駅前の環境整備として、H13年度に用地を取得し、H14年度に整備を予定している。 H13 用地取得面積 747.85 m<sup>2</sup> 整備面積 647.55 m<sup>2</sup></li> <li>内谷橋公園整備事業・・・内谷6丁目・7丁目地区の環境空間有効活用に伴う合意書緑地における公園整備をH13～H14にかけて実施。 H13 使用貸借面積 2,575.55 m<sup>2</sup> 整備面積 2,575.55 m<sup>2</sup></li> </ul>
担当部課	<p>担当部課名 都市計画部 都市計画課 管理係</p> <p>電話 048-829-1403</p> <p>ファックス 048-829-1979</p>
その他	環境空間に係る土地利用計画及びJR東日本との協議・調整は都市計画課において所掌しているが、具体の整備関係については、各所掌課において担当しています。

施策名	さいたま新都心整備推進事業
施策の概要	<p>高次の都市機能を集積した新たな中枢都市圏を創造することにより、過度の東京への依存を是正することを目的に、自立性の高い都市形成を目指し、旧大宮操車場跡地を含む 47.4ha のエリアを開発したものです。整備にあたっては、都市景観、資源循環、バリアフリー、防災性などに配慮した、安全で快適なまちづくりを目指しています。</p> <p>特にヒートアイランド対策に資する施策としましては、地域冷暖房を導入して、冷暖房・給湯用の蒸気と冷水をエリア内施設に一括供給することにより、エネルギーを効率的に利用する。雨水を地中へ浸透させて樹木への水供給と水の蒸発散を促すため、歩道を透水性舗装とする。エリア内の人工地盤上に、「けやきひろば」や「せせらぎの丘」など緑地を適切に配置して快適な空間をつくる、などがあります。</p>
予算措置	<p>(平成13年度) 138,217 (千円)  (平成14年度) 208,896 (千円)</p>
施策の実績及び今後の方針等	<p>都市基盤整備につきましては、現段階でほぼ完了しており、今後も、高レベルでの都市管理マネジメントを実現すべく維持管理に努めていきます。また、今後予定されている民間施設開発に際しては、環境に配慮したさいたま新都心のまちづくりに相応しい施設となるよう、適切な誘導を図っていきます。</p>
担当部課	<p>担当部課名 都市整備課  電話 048-829-1449  ファックス 048-829-1979</p>
その他	

施策名	氷川緑道の整備
施策の概要	<p>氷川参道は本市の歴史的な資源で、およそ2 kmに及ぶケヤキを主体とした並木の緑は都心における貴重な緑の軸を形成していますが、大宮中央通り以南は道路としての機能も持っており、通過交通や違法駐車などの交通問題や並木の緑の問題などを抱えています。</p> <p>そこで、行政と市民が一体となって、氷川参道を将来に引き継ぐためのまちづくり推進の一環として、短期的な交通対策として施工する歩車分離工事の中で、環境に配慮した施策を実施するものです。</p>
予算措置	<p>(平成13年度) 84,000 (千円)  (平成14年度) 4,477 (千円)</p>
施策の実績及び今後の方針等	<p>13年度に施工した氷川参道の歩車道分離工事では、雨水を地中へ浸透させて並木の樹木への水供給と水の蒸発散を促すため、透水性(保水機能含む)舗装と排水性舗装を導入しました。</p> <p>今後も、地元まちづくり組織との協働により、参道における歩車分離工事の延伸を含めた地区交通対策の実現に向けて、まちづくり活動を続けていく予定です。</p>
担当部課	<p>担当部課名 都市整備課</p> <p>電話 048-829-1449</p> <p>ファックス 048-829-1979</p>
その他	

施策名	ソーラーシステム（東清掃事務所）
施策の概要	ソーラーシステムを導入することにより、ボイラーの使用を軽減する。
予算措置	ソーラーシステムに対する予算措置は特別になし。
施策の 実績及び 今後の方針 等	建築当初（昭和 53 年 6 月）よりソーラーシステムを設置しており、システムを導入した事により年間どれ位のボイラー用燃料の削減及び、ボイラーの使用が軽減されたかの資料等作成していないので数字で表す事はできないが、ボイラー使用は毎日のことなので、かなりの排熱の軽減になっていると思われる。
担当部 課	担当部課名 環境部東清掃事務所 電話 048 - 685 - 0611 ファックス 048 - 687 - 2018
その他	

施策名	(仮称)新大宮聖苑建設事業
施策の概要	(仮称)新大宮聖苑につきましては、周辺環境との調和(建物の一部を屋上緑化とする等)、公害防止(火葬炉の燃料に都市ガスを採用、再燃焼炉及び高性能バグフィルタの設置等)、雨水再利用・地中熱空調利用(地下ピットを利用することで効率性を高める)、生活道路の交通(進入路の整備等)に配慮した施設計画としています。
予算措置	施設建設全体での予算措置のため、ヒートアイランド対策についての金額算出は不可能であります。なお施設建設につきましては、平成15年度竣工に向けて事務を進めています。
施策の実績及び今後の方針等	上記のとおりです。
担当部課	担当部課名 片柳東部整備事務所 電話 048-682-2811 ファックス 048-682-2812
その他	